

民生委員・児童委員の

令和7年3月1日発行

第41号

たより

編集・発行

豊明市民生児童委員協議会

豊明市新田町子持松1-1 豊明市役所内 ☎92-1119



会長あいさつ

豊明市民生児童委員協議会
会長 近藤 俊秀

令和6年度の重点目標の1つ目は、「災害時避難行動等要支援者（児）の登録支援活動を推進する」です。去年は、元日早々能登半島地震、さらに9月には同地域での豪雨がありました。胸を痛めるとともに災害時について、その備えの大切さを痛感させられました。そんな折、10月の全体会で、市担当者から「災害への備えと豊明市の取組み」についての講話があり、行政は十分な備えをしていること、また、前述「登録支援活動」は一步踏み出し、その個別の避難計画の作成まで進んでいることが分かりました。本会も地域社会の実情を把握することに努める平時からの取組みをより強化し、災害時の助け合いにつなげることが出来たらよいと考えています。今後とも皆様方のご理解ご協力をよろしくお願いします。



市長あいさつ

豊明市長 小浮 正典

皆様には、日頃から地域をつないでいただき、厚く感謝申し上げます。

豊明市は誰ひとり取り残さない社会づくりを進めています。市・社協とも体制を強化していますが、地域に一番近いところにいらっしゃるのには民生児童委員の皆様です。皆様の見守り活動と、「困っている世帯がある」という情報の行政への提供が私たちの目指す社会基盤です。

市役所は昨年4月から共生社会課内に専門職による重層支援センターをつくり、課題のある世帯へ積極的に向かっています。皆様との連携のおかげで深刻な事態になる手前で課題を軽減できた事案もあります。

皆様には、困ったときはお互いさまの社会をリードしていただきますよう心からお願い申し上げます。

各部会の活動報告



高齢者福祉部会

部会長 井戸 幹雄

高齢者の在宅福祉向上のため、そのサービスの内容について検討をしています。



- ・愛知警察署生活安全課による講習会（特殊詐欺防止について）（5月）
- ・講習会（地域包括支援センターの活動内容について）（6月）
- ・市による講習会（高齢者福祉サービスについて）（7月）
- ・認知症サポーター養成講座の実施（10月）
- ・講習会（医療保険について）（11月）
- ・市社会福祉協議会による講習会（高齢者福祉サービスについて）（1月）
- ・1日研修（中部空港税関参観）（2月）



主任児童部会

部会長 野村 治子

主任児童部会は、各中学校区に2名ずつの計6名で、児童福祉のため活動をしています。



- ・子育て支援センター「たけのこ」の活動に参加（毎月1回）
- ・各担当小中学校訪問（5月、12月）
- ・児童福祉部会との合同研修会（主任児童委員及びスクールソーシャルワーカーについて）（6月）
- ・見学研修会（児童発達支援センター「どん

ぐり」訪問）（7月）

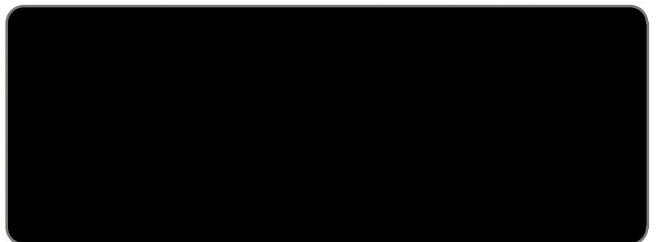
- ・教育長、学校支援室長との懇談会（8月）
- ・各小中学校での児童、生徒の福祉実践教室（高齢者擬似体験）に協力（9月、11月、12月）
- ・就学時健診及び入学説明会での保護者に対する主任児童委員広報活動（10月、2月）
- ・児童福祉部会との合同研修（社会福祉法人米山寮訪問）（11月）



児童福祉部会

部会長 加藤 雪絵

子育て・ひきこもり・虐待・不登校・非行等の様々な児童問題についての研修・情報交換、また、主任児童部会と事業を共有し視野を広げ、健全な児童育成を図ります。



- ・主任児童部会との合同研修会（主任児童委員及びスクールソーシャルワーカーについて）（6月）
- ・市内小中学校との懇談会（部会員を含む全民生児童委員が参加）（7月）
- ・主任児童部会と合同で、小中学校との懇談会の報告、反省等（9月）
- ・主任児童部会との合同研修（社会福祉法人米山寮訪問）（11月）
- ・視察研修（児童発達支援センター「どんぐり」及び子育て支援センター「たけのこ」）（1月）



生活福祉部会

部会長 高橋 敏夫

豊明秋まつりの一環として、民生児童委員協議会主催によるチャリティーバザーを開催し、その売上総額を市社会福祉協議会に寄付

することを通じて、地域の支え合いの精神をさらに推進しています。また、生活困窮者支援に関する理解を深めるため、研修活動を行っています。



- ・チャリティーバザー開催準備及び検討（5～10月）
- ・「もったいないボランティアプロジェクト岡崎倉庫」を見学し、寄贈後の商品の流れについて学ぶ（6月）
- ・豊明秋まつり内で、チャリティーバザーを開催。売れ残り商品は、「もったいないボランティアプロジェクト」及び「リユースイベント」へ寄贈。（11月）
- ・チャリティーバザーの振り返り（12月）
- ・研修（生活困窮者支援における民生委員の役割について）（2月）

＊福祉広報部会

部会長 蟹江 忠夫

民生児童委員協議会のたよりを作成し、民生児童委員活動について、市民の方々へ周知しています。



- ・「たより 41 号」の検討及び校正（4～2月）
- ・1日研修（朝日新聞にて工場見学及びキンビール株式会社にて適正飲酒セミナー受講）（7月）
- ・子育て支援課職員による勉強会（学校以外の居場所、手当や補助について）（8月）
- ・学校教育課職員による勉強会（不登校児の

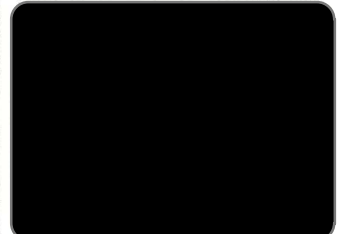
- 居場所、児童クラブについて）（9月）
- ・「たより 41 号」の発行（3月）



障がい者福祉部会

部会長 安倍 武利

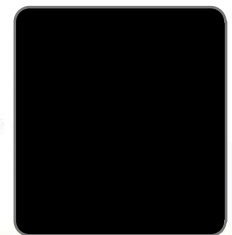
障がいへの理解を深め、障がいをお持ちの方が生き生きと過ごせるよう支援しています。



- ・豊明市障がい者基幹相談支援センター職員による勉強会（障がいについて）（5月）
- ・視察（障がい者就労×農業「わーくはびねす農園」）（6月）
- ・藤田医科大学防災教育センター副センター長による勉強会（能登半島地震の被災地ボランティア活動体験談について）（7月）
- ・心身障がい者（児）オリエンテーリング大会ボランティア（10月）
- ・長久手福祉の家にて尾張東部圏域相談支援アドバイザーによる勉強会（障がい者の差別解消について）（11月）
- ・心身障がい者（児）クリスマス会ボランティア（12月）
- ・パラリンピック正式種目「ボッチャ」の体験会（2月）

●民生児童委員の就任・退任

・栄地区〈舘北〉
就任 横屋 幸男
令和6年12月1日付
よろしくお願いします



退任 立松 裕子
ありがとうございました

特集

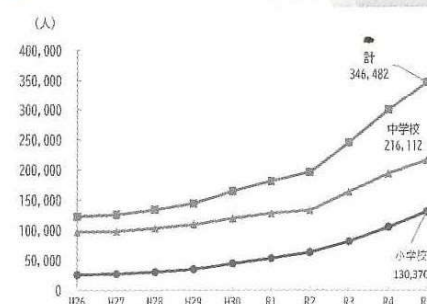
不登校児童生徒への支援について

不登校の児童生徒は全国的に増加しています。文部科学省の調査によると、11年連続で増加し、令和5年度は過去最多となっています。豊明市も例外ではなく、現在約200人の児童生徒が不登校とされています。

不登校はどの子どもにも起こりうることで、「問題行動」ではありません。不安や悩み、心配なことがあれば迷わず相談してください。

不登校は、年度間に30日以上登校しなかった児童生徒のことを指します。

不登校児童生徒数の推移



出展：「令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」(文部科学省)

豊明市では子どもたちが安心して過ごせる場所を開設しています



フレンドひまわり勅使・フレンドひまわり栄



個々や小集団での活動をとおして、社会的自立を目指すための教室です。児童生徒の実情に合わせて入退室ができます。

対象 市内在住の小中学生

日時 毎週月曜日～金曜日（祝日を除く）
午前9時～午後3時30分

1日の過ごし方 個々に教科学習をするほか、個々または小集団で、自然散策・スポーツ・美術・クッキング等様々な活動を行います。 ※給食の利用も可能です

申し込み方法 手続きは各学校を通して行います。まずは各学校へご相談ください。見学・体験も可能です。



校内フリースクール



令和6年度から新たに、中学生を対象に市内中学校に設置しています。自分に合ったスタイルで生活ができる環境を整えています。相談は各学校へ。

心配なことがあれば迷わずご相談ください！

豊明市内の児童・教育相談窓口

家庭児童相談室(子育て支援課)

☎0562-91-0008

月～金 9:00～17:00
(年末年始、祝日を除く)

教育相談電話「ひまわり」

☎0562-92-1400

月～金 9:00～16:30
(年末年始、祝日を除く)

ひまわり相談室※事前申込制

☎0562-92-1292

年間5回開催
(6・9・10・12・2月)